

平成30年9月20日



しほり
森づくり集団「葉」事務局通信 Vol.120号

【今月のお知らせ】 【今月の活動報告】 【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】 【編集後記】



2018.9.2下富第1フィールド

ヤブランです。

葉が東洋ランに似ており、林の中にヤブのような場所に生えることから、この名となったようです。

【今月のお知らせ】

あおぞら共和国のボランティア・観察会、下富のヨーガ講習会とイベントが続きますが、多くの皆様の参加を期待しています。

【今月の活動報告】

9月2日(日)

下富第3&第2フィールド

参加者 / 神坐、豊島、畑、土金、渡部、緑川、坂本

一般参加者 / 福井

活動担当者 / 吉田ひ、吉田あ、飯塚

平成30年度秋季の植生調査を実施しました。太平洋上を北上する台風の影響を受け生憎の天候とはなりましたが、総勢11名が参加しました。



【 植生調査風景 】

第3フィールドでは、樹林地を手入れすることによる変化を確認することを目的に、手入れを行う区画と手入れせずに推移を確認する区画にそれぞれ調査エリアを設置しています。伐採など管理作業を行うエリアに設定した調査対象区画Aでは昨年の調査結果と確認種の構成に大きな変化はみられませんでした。が、昨年の冬に林冠を覆っていたコナラの大きな枝が枯れて落下したことにより、今回の調査では亜高木のウメモドキが大きく成長していました。

林冠を優占する樹木などを伐採していないエリアに設定した調査対象区画Bでは、耐陰性の高いイヌツゲが大きく成長していました。低木層と林床を合わせた確認種数ではA区画と比較し、少ない状況で推移しています。キンランやギンランは引き続き安定的に生育していました。

第3フィールド全体で確認した植物は84種でした。前年の調査では69種を確認していましたので、15種ほど増加した結果となりました。春期調査では100種程の植物が確認されています。

第2フィールド西側の区画では埼玉県の特産種であるヒゴスミレ、キンラン、シュンランの3種を含んだ65種の植物を確認しました。この区画では先月下刈り作業を実施しており、今回の調査で確認した種数が減少しているものと推察されます。

第2フィールド東側の区画ではササバギンランやキンランなど97種を確認しました。この区画は、伐採実施後にコナラの実生などを移植してから既に15年程が経過した区画を含んでおり、一時的に鬱蒼としていた樹林が除伐や下刈りなどの施行により陽光が林床に届きやすくなり、育植物種数を増加させていることが裏付けられる結果となっています。今回の調査では埼玉県の特産種であるクチナシグサが数多く確認されています。クチナシグサは二年草で、埋土種子として樹林の林床で発芽の機会を待っている植物種ですが、下刈り作業の実施により複数の箇所が発芽しているものと思われます。



【不明な植物の同定作業中】

秋季調査ではフタリシズカ、ツリガネニンジン、ヤマユリなど落葉広葉樹林の林床を彩る植物が複数確認されています。これらの植物は草刈りなどの作業を行うことにより生育条件が有利となる植物種です。近年、これらの植物は手入れ不足による樹林の荒廃だけでなく、盗掘やイノシシなどによる食害などの影響を受け、その生育数が減少しています。これらの植物種が絶滅危惧種とならないことを願っています。

(報告 吉田)

【次回の活動予定】

10月7日(日) 9:30～

集合は第1フィールドです。第2フィールドでヨガ講習会と下刈りを行います。

参加希望者はメンバーメールにてお知らせください。

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}栞」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れを行っています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し、新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などを企画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】



オミナエシです。

秋を感じさせてくれます。

土金

森づくり集団「^{しほり}栞」事務局
アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp
ホームページ <http://mori-shihori.a.la9.jp/>
事務局 緑川睦子